

港労研通信

第40号 2026年8月31日

全国港湾労働組合連合会（全国港湾）
港湾労働政策研究所（港労研）
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館1階
TEL 03-3733-2561 FAX 03-3733-2627
<http://zenkokoku-kowan.jp/>

全国港湾活動日誌 <8/1 ~ 8/31>

8/6 全国港湾新橋駅宣伝行動

8月6日、広島で平和祈念式典が開催され、被爆から81年がたった今も平和の尊さを語り継ぐ人々の思いに改めて胸を打たれた。街頭宣伝では「港湾を戦争の拠点にするな」「港湾を兵站基地にするな」という思いを強調するとともに、武力ではなく対話と外交によって平和を築いていくことを主張した。

8/11 JAL 解雇争議羽田空港スタンディング行動

羽田空港第1ターミナル到着ロビー前でJAL不当解雇争議の全面解決に向けたスタンディング行動を実施した。参加者は全国港湾からの3人を含む約200人が結集し「都労委命令である解雇後の人員数を明らかにし、解雇争議の一日も早い解決」を強く訴えた。

この日は41年前のJAL123便事故の前日でもあり、スタンディングでは「JALは解雇争議を解決絶対安全を確立せよ!」と強くアピールした。本行動の最後には、当該労組から「JAL不当解雇撤回100万人署名をさらに大きく広げ、運動を強めていく」と決意が表明された。



8/17 全国港湾教宣委員会

8/26 こくみん共済推進会議

8/26 港湾労働政策研究所事務局会議

<報告事項> 1. 7月2日苫小牧国際CT視察および地元組合との懇談会

<確認事項> 1. 労働実態アンケート調査の実施経過について 2. 福利厚生拡充について 3. 7月27日労使政策委員会での料金P/Tの取り組みについて 4. 全国港湾・広島港湾との懇談会について 5. 港湾経済学会（広島）への参加について 6. 港労研シンポジウムの開催に向けて 7. その他の諸活動/所報（第6号）の発行に向けて、港労研第5回総会に向けて

8月27日 第3回全国港湾役員選考委員会

<確認事項> 1. 第2回役員選考委員会以降（7月15日）の経過 2. 推薦、立候補者、顧問の確認/34名中32名の立候補者を確認、最終的な役員立候補、推薦報告は全国港湾大会前日の9月15日の第4回役員選考委員会で確認 3. 退任中執および新任立候補者の確認/退任中執2名、新任中執2名 4. 顧問の推薦提案の確認 5. その他

8/27 中央事前協議会

荷主・ユーザー等が港湾地域に倉庫・物流施設を増設し稼働する事案および革新船に係る事前協議事案（重要案件、軽微事案）の他、横浜本牧D5ターミナルにおいてOCRゲートシステムを導入する件については、中央労使政策委員会で協議し、了解されれば了承することとした。また、5月22日の中央事前協議会で了解した神戸ポートアイランドKICTに遠隔操作RTG12基を導入する件は8月17日に組合側が現地視察を行い、了承するとし、その後の自動化・機械化に関する労使協議会で中央確認書を取り交わすこととした。

8/27 港湾の自動化・機械化に関わる労使協議会

横浜本牧D5ターミナルのOCRゲートシステムを導入する件について確認した。また、神戸港（KICT）ターミナルの遠隔操作RTG導入について中央確認書を締結した。

8/27 全国港湾大会決議起草委員会

8/27 労使政策委員会（FAX第12号）

<討議経過> 予め組合側から提案した討議メモに基づいて業側より意見交換をしたいとし、項目毎に協議した。1. 安全専門委員会関係 ①組合側は「行政/事務連」等を付して「注意喚起」の文書発信について、次年度は労使での文書を発出することを要請。また、安全など労使が共有する課題については労使連名で発出すべきである旨を強調。フルハーネスの課題は各事業者が選定するものであり推奨することは出来ないとした。横須賀フェリーに係る四者協議は現在神奈川港運協会と調整中。産別協定編纂は組合から提案された全文を検討中であり、早急に回答する。2. 労使の取り組み事項 ①「週休二日制の実施状況」「適正料金確保の取り組み」「価格転嫁推進の周知」「内航フィーダー問題に関する行政申し入れ」3. 当面する課題（別枠協議）①放射線量検査 ②26年度年末年始例外荷役 4. 横浜港D-5ターミナルでのOCR導入の件 5. 神戸港（KICT）ターミナルでのRTG遠隔操作化導入 6. 組合側からの提案と主張 ①港湾ロジスティクス拠点ターミナル形成支援等港湾政策について ②東京港2035年の将来像説明会について ③ターミナル形成支援等港湾政策および東京港2035年の将来像について勝手に進める自動化・無人化は「反対」を表明 ④指定事業者・日興サービスの26春闘での賃上げが進んでいないことに組合として関係ユーザーへの申し入れを検討 7. 次回労使政策委員会は9月30日（水）14時30分を確認した。

8/28 全国港湾会計監査

関係組合機関誌等 <7/1 ~ 7/31>**◆「全国港湾」第400号 2026年7月15日**

発行：全国港湾労働組合連合会

▶全日本港湾労働組合関西地方大阪支部結成50周年記念式典を開催 ▶全国港湾納涼会 ▶全労連表敬訪問 ▶苦小牧国際コンテナターミナル(TICT)との意見懇談ー苦小牧港の現状と課題を探るー ▶「港湾を兵站基地にするな!」「港湾労働者と戦争を考える」第19回定期大会で特別決議案提出 ▶リレー随筆/フローラ

◆「全国港湾」第401号 2026年8月15日

発行：全国港湾労働組合連合会

▶第19回定期大会予告 ▶原水爆禁止世界大会/長崎大会・福島大会 ▶全国から支援者ら200人が参加「JALは解雇争議の全面解決を!」と羽田空港で訴え ▶「港湾を兵站基地にするな!」「港湾労働者と戦争を考える」2026年版防衛白書公表 我々港湾労働者が更なる危険な事態へ ▶酷暑に注意 ▶各単組定期大会日程 ▶リレー随筆/初歌舞伎

◆「全倉運」第1555号 2026年8月25日

発行：全日本倉庫運輸労働組合同盟

▶全倉運第81回定期大会のご案内 ▶第81回定期大会方針案のポイント/賃金・一時金の改善、労働条件向上へ、完全週休二日制、不払い根絶、定年延長など ▶2026年春闘・夏闘総括/賃金・夏季一時金ともに前年上回る ▶全倉運2026年秋闘/戦術と日程案 ▶国民春闘共闘夏季一時金最終集計 ▶各地区夏季交流集会開催/関東地連、関西地連、東海地連 ▶関西地連/大阪港みなと祭・協賛ボウリング ▶労働政策審議会労働条件分科会/諮問会議分科会まとめを報告 ▶人材確保・定着が上位/日経BP調査

◆「日通労働」Vol.3016 2026年8月1日

発行：全日通労働組合

▶特集 第81回定期全国大会・主な経過、中央執行委員長挨拶(要旨)、本会議での主な意見・要望・中央答弁(一般経過・運動方針討議)/財政分科会での主な意見と中央答弁、大会での決定確認事項 ▶2026年度年間行動計画 ▶日通ユニオン共済会28回総代会 ▶2025年度中央女性委員会後の各ブロック代表委員との意見交換 ▶平和現地視察学習(沖縄) ▶各特定支部・エリア支部の委員長・書記長以外の専従役員紹介/活動を支える愉快的仲間たち ▶運輸労連第59回定期大会/2026年度(中間年)運動方針を決定、働きの価値に見合った賃金水準の確保へ ▶日本通運野球部が「第97回都市対抗野球大会」に出場決定

◆「フェニックス」第430号 2026年8月1日

発行：航空安全推進連絡会議 日本乗員組合連絡会議

航空労組連絡会

▶IATA(国際航空運送協会)航空需要は底堅く推移/中東情勢で収益環境は悪化 迫られる脱炭素化への対応 ▶酷暑のランプ作業/万全な熱中症対策を ▶安全を支える人が足りない/グラハン連、航空局にアンケート結果

を説明し職場実態などで意見交換 ▶客室乗務員の疲労管理基準づくりが大詰め/客乗連、航空局に実効性ある基準づくり要請 ▶ジェットスター賃金裁判(賃金減額訴訟)が和解/JCAが提起したすべての争議が解決 ▶ITFニュース/ITFコットン書記長がILO総会で演説、公正と尊厳に基づく「仕事の未来」を、国際労働運動の課題を提起 ▶安全会議だより/職場の声を安全対策へ、航空安全を求め沖縄で要請 宮古空港の平行誘導路整備で前進 ▶読書のススメ/「賃金が上がらない」理由を構造から読み解く なぜ賃金は上がらないのか/首藤若菜著

◆「船員しんぶん」第3124号 2026年7月25日

発行：全日本海員組合本部

▶南海フェリー/船員を目指そう!フェリーあい体験航海・大海原で船乗りの仕事を学ぶ ▶海の日スペシャルプログラム・私たちの海~Seaside story2026/松浦組合長が「海の日」を語る ▶ヤマツ谷地商店/新造船「第八十六源榮丸」が八戸から出港 ▶島根県立隠岐水産高校/歴史と伝統ある水産単科の高等学校で漁業ガイダンス ▶第81年度中央コミュニケーションスクール/全国の組合員が会社間の垣根を越えて交流を深める ▶第31回海の日・南島原市ミニバレーボール大会 ▶長崎港「海の日」/航海安全および大漁祈願祭・物故船員慰霊祭 ▶「J-CREWプロジェクト~やっぱり海が好き~」/博多港ベイサイドミュージアムで特別展示・巡回展を開催 ▶船舶料理士試験対策研修 ▶海員福祉研修会館/ホテルマリナーズコート東京 ▶家族のひろば ▶童話・潮の香/満月に海賊船がやって来る ▶カップルで一緒に食べよ/カレーうどん ▶ザ・クロスワード ▶みんなのイラスト ▶共済特集号/海員総合共済制度

◆「船員しんぶん」第3125号 2026年8月5日

発行：全日本海員組合本部

▶無人運航船プロジェクト・MEGURI2040・国土交通省と海員組合が合同で乗船視察/自動運航実証実験船「げんぶ」に乗船(東京港~仙台港) ▶対談・自動運航船の未来/田中組合長代行と後藤海事局船員政策課長 ▶宮城県石巻市長浜海岸/子どもたちが地引網を体験 ▶第19回夏休み伊勢湾発見ツアー/湾内遊覧で夏休みの思い出を作る ▶第10回東北地区船員就職支援懇談会 ▶北九州市・明石与次兵衛塔/海上航行安全祈願祭 ▶釧路海の月間行事/海岸清掃で海の恩恵に感謝 ▶那覇市・旭ヶ丘公園/海の日・関連イベント・グリーンアップ2026

◆「海員」2026年8月1日 8月号 通巻925号

発行：全日本海員組合本部

▶「船員の日」感謝の会/金子国土交通大臣から感謝の言葉 ▶共和産業海運/新造船「新共和丸」就航 ▶八戸から出港/中型イカ釣り漁船「第八十六源榮丸」出港 ▶私たちの海~Seaside story2026/松浦組合長が「海の日」を語る ▶本船の若い人 ▶組合活動レポート/清家港区長が組合本部会館を訪問 ▶無人運航船プロジェクト・MEGURI2040/国土交通省と海員組合が合同で視察 ▶新日本海フェリー/北海道小樽港と京都府舞鶴港を結ぶ・

カーフェリー「けやき」▶組合本部活動だより/総合政策部・外航部・水産部・国内部▶特集/平和都市広島に行く・瀬戸内の海とともに80年・瀬戸内海汽船の歩みと次世代への挑戦▶組合活動レポート/第39回アジア船員サミット会議の開催、北海道小樽市立稲穂小学校・学び舎 船と船員さん教室▶第81年度新任執行部研修会▶絵子の休日「第3回」26ミス日本「海の日」野口絵子さん▶海員文芸サロン▶家族のひろば▶ふおつと川柳俳句はじめました▶船舶料理士試験対策研修、海技資格取得研修補助事業▶宿泊施設・医療施設

◆「月刊全労連」2026年8月号 No.354

発行：全国労働組合総連合

▶特集 労働組合による組織化が最も必要な時代に「論文・日本経済の黒光りする不気味な泥沼/浜矩子」「論文・軍拡経済の現局面と安保三文書の改定問題/梅原英治」▶労働組合だからこそ、平和を守ろう/石川敏明▶いまなぜ労働者の労働組合への組織化が重要なのか―憲法で憲法を守り、私たちが強く大きくする―/黒澤幸一▶春闘における「おひさま飯塚保育園分会」の賃上げ～非正規職員と正規職員が団結して共に声を上げた/佐藤八重子▶「愛高教平和部」という希望/松本陵子▶組合員「がひとりの職場でも、「不当労働行為を見逃さない力」があれば！/藪治▶プラットフォーム労働で新条約採択・第114回ILO総会/不正恵輔▶組合実態をリアルにみて、まずはできることから「モリトーク！」から/吉田仁▶この間の相談から考えること/竹田吉宏▶ワクワクする私たちの地域組織「名労連」結成！/笹原勝治▶レイバー・ノーツ大会 in シカゴに参加/黒澤幸一、コラム：SNSで声をあげることからはじまる社会運動/宮鍋匠▶書籍 アメリカ変革への長い道のり マイルズ・ホートン自伝/名取学▶囲碁・詰将棋▶編集後記

◆「日本倉庫時報」vol.1371 令和8年7月28日

発行：日本倉庫協会

▶第59回通常総会を開催/令和7年度財務諸表、令和8年度会費要領などを承認▶会長・副会長・常勤役員を選任▶退任・就任挨拶、委員会委員長紹介▶倉庫物流研究会▶常任理事会・理事会議事録掲載のお知らせ▶倉庫業に係る補助金のご案内▶総会懇親会を開催/全国から会員事業者の方々、多数のご来賓が参加▶令和9年度税制改正要望・融資要望▶令和8(2026)年度研修・講習会開催計画▶メルマガ登録のご案内▶開催のお知らせ「第23回物流フォーラム/AI時代だからこそ問われる倉庫現場の“人間力”▶人材確保委員会主催パネルディスカッション「倉庫業における人材戦略に関する取り組みについて」(要旨)▶採用戦略セミナー「採用活動をブラッシュアップさせる3開催」▶広報セミナー&交流会 /テーマ「企業・業界の魅力を伝える広報&SNS実践講座」▶地区協会インタビュー/滋賀県倉庫協会～70年の歩みを礎に、新体制で次の一步へ～▶トラック・物流Gメンよろず相談室 各地区倉庫協会だより▶地区倉庫協会事務局異動▶地区倉庫協会住所変更▶国土交

通省人事異動▶日本倉庫協会人事異動▶安全衛生教育DVDライブラリーのご案内▶令和8年熊本地震災害支援対策本部を設置▶「日本倉庫時報」電子版への完全移行について▶年間行事・委員会予定▶編集後記

◆「港湾防災」第740号 2026年8月10日

発行：港湾防災防止協会

▶間口大阪総支部長・令和8年度安全衛生に係る厚生労働大臣表彰(功労賞)の荣誉に輝く▶令和8年「海の日」海事関係功労者国土交通大臣表彰▶就任のご挨拶(高木副会長、中江北海道総支部長、高城東北総支部長)▶令和8年度各地区安全衛生セミナー等の開催予定▶金子中国総支部長に聞く「義を見てせざるは勇無きなり」▶令和8年度安全衛生実施協議会―東京に総支部・支部事務局主管者が集う―▶九州総支部発 わが社の安全衛生活動/日本通運株式会社大分支店▶令和8年度指差呼称定着化研究会に参加して▶神奈川総支部発安全管理士(員)活動報告/長谷川安全管理員▶「SAFEアワード」の事例紹介(その2)/厚生労働省から優秀事例紹介▶本部・総支部・支部の各種行事日程のお知らせ▶月例死亡災害発生件数の推移・総支部一覧

◆「港湾」Vol.103 May 2026 8月号 8月25日

発行：公益社団法人日本港湾協会

▶巻頭言 歴史を紡ぎ未来を拓く秋田港/沼谷純▶特集 我が国におけるクルーズの持続的な成長 ○特別寄稿 我が国のクルーズ振興/赤井伸郎 ○我が国のクルーズの現状と今後の取り組み 日本におけるクルーズの持続的な成長に向けて/久保貴之、我が国におけるクルーズの持続的な成長/大石貴文、日本政府観光局(JNTO)による訪日クルーズ誘致プロモーション事業/高橋歩○クルーズ船社の取り組み 日本初のヨットスタイル客船が切り拓く新たな海の旅/新居正弘、日本初のディズニークルーズ就航に向けて/志村直彦、プリンセス・クルーズの日本市場での取り組み/堀川悟、ポナンによる今後の取り組み/伊地知亮 ○港湾管理者・地方自治体等の取り組み/甕島の港におけるラグジュアリークルーズ誘致のための取り組み/又木亮、酒田港における寄港誘致のための取組み/松野善幸・秋葉修、我が国における「ライドシェア」制度/池上明子、別府港におけるクルーズ船寄港時の二次交通対策/安部政信、清水港におけるクルーズ客船二次交通のアップデート/清野吉光 ○クルーズの魅力 乗船前に届く情報が寄港地の価値になる/小川由美子、クルーズ振興と寄港地観光「量から質」への転換/渡會智史▶World Watching[連載第315回]洋上風力発電産業の拠点形成による英国ハルの港湾・都市再生/須野原豊▶港の現場最前線[連載第161回:敦賀港]進化する敦賀港▶我が町のみなとを再発見[連載第326回:酒田港]北前船が運んだ歴史と文化の息づく湊▶みなとオアシスリレー通信[連載第165回:新居浜港]みなとオアシスマリンパーク新居浜▶港湾用語の基礎知識[連載第172回]潜水土▶ニュースフラッシュ▶港湾観測▶読者の声▶編集後記

「大原社会問題研究所雑誌」 NO.814 2026.8

発行：法政大学大原社会問題研究所

▶【特集】軍都広島における在日朝鮮人と日本社会—植民地支配・戦争・冷戦のなかを生きる(2)、戦時末期の広島県一村落における朝鮮人の在留状況/宮本正明、朝鮮戦争下広島における朝鮮人運動と「五〇年問題」—「国際派」の動向を中心に/鄭榮桓 ▶論文 日本における労働組合間の地域的連帯とレパトリー形成—1970年代の中小企業労働運動を事例にして/石丸暁彦 ▶書評と紹介 奥村旅人著「労働学校における生の充溢—生涯教育の空間論序説/荒井容子 ▶蔭木達也著『高群逸枝「共存の愛」の思想—民衆哲学から女性史へ』/松尾純子 ▶社会・労働関係文献月録 ▶月例研究会/山本晶子 ▶所報 2026年4月

◆「労働者の権利」2026・7 SUMMER Vol.366

発行：日本労働弁護団

▶巻頭言 日本労働弁護団・関プロ会長就任にあたり/小林幸也 ▶特集1 ●排外主義と外国人労働 ILO 専門委員会の育成就労制度における募集・斡旋手数料を移民労働者に課すことを撤廃する提言/香川孝三、外国人労働政策と日本型雇用システム/濱口桂一郎、三重県職員国籍要件事件/金銘愛 ▶特集2 ●現代型政策形成訴訟—公共訴訟 公共訴訟のいま—CALL4と支援ケースの実践を例に/谷口太規、「子どもと向き合う時間がほしい」児童相談所の労働環境改善を！訴訟のご報告—政策形成訴訟をやってみました—/足立佳輔、「会計年度任用職員にも労働基本権を！」訴訟から/山本志郎、学校現場の「不条理」を社会の「問い」へ—「人間を育てる教員に、人間らしい働き方を」訴訟における公共訴訟の実現/若生直樹・石原悠大 ▶備考 裁量労働制～現行制度の問題点と法改悪の危険/岡山遥平、労働人権の実現と ILO 監視機構活用の意義/脇川滋、独立系4労組のILOへの取り組み、▶ホームヘルパー国賠訴訟の経験と国連、ILOの活用へ/伊藤みどり ▶権利闘争の焦点 名古屋自動車学校事件差戻控訴審判決/中谷雄二、大阪大学非常勤講師解雇(雇止め)事件/中村和雄、パナソニックリビング事件の報告/小野山静、15年前のJAL整理解雇の「解雇の必要性」を今問う/岡田尚、職種廃止と職種限定労働者の解雇～社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会事件のその後/塩見卓也、あおぞら銀行事件逆転逆転勝訴判決報告/伊藤安奈 ▶海外情報 アプリ配車サービス(TADA)運転手の労働者性を認めた韓国大法院判決 ▶連載第4回「労働者の権利」を基軸とする新たなたたかひの模索/徳住堅治、労働事件における債権回収/西川治 ▶書評 旬報社「最新テーマ別 労働法実務」鈴木悠太、常見陽平著「日本の就活 新卒一括採用は「悪」なのか」/遠藤良、濱口桂一郎著「外国人労働政策」/古賀玖美 ▶連載 労働映画「骨までしゃぶる」/広谷渉 ▶資料 日本労働弁護団 声明・意見書 ▶編集後記

◆毎月勤労統計調査月報 ー全国調査ー

No.927 (26年8月4日到着分)

2026年(令和8年)4月分結果の概要

▶賃金

令和8年4月の現金給与総額は規模5人以上で312,699円、前年同月比3.6%増(規模30人以上では352,253円、前年同月比4.1%増)となった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は299,015円、前年同月比3.4%増(規模30人以上では前年同月比4.0%増)となった。

また、所定内給与は277,710円、前年同月比3.3%増(同3.7%増)で、所定外給与(超過労働給与)は21,305円、4.8%増(同6.5%増)、特別に支払われた給与は13,684円、10.3%減(同8.97%増)となった。

実質賃金(総額)は規模5人以上で前年同月比2.0%増(規模30人以上では前年同月比2.4%増)となった。

▶労働時間

令和8年4月の総実労働時間は規模5人以上で139.8時間、前年同月比0.2%増(規模30人以上では146.8時間、前年同月比1.0%増)となった。

総実労働時間のうち所定内労働時間は129.5時間、前年同月比0.2%増(規模30人以上では前年同月比1.0%増)、所定外労働時間は10.3時間、1.0%増(同1.7%増)となった。

また、製造業の所定外労働時間は規模5人以上で14.0時間、前年同月比2.9%増(規模30人以上では前年同月比3.3%増)となり、季節調整値でみると前月比0.5%増(同前月比0.3%減)となった。

▶常用雇用

令和8年4月の常用雇用は、規模5人以上で前年同月比0.9%増(規模30人以上では前年同月比0.6%増)、就業形態別にみると、一般労働者は0.9%増(同0.9%増)、パートタイム労働者は1.4%増(同0.2%減)となった。

主な産業についてみると、製造業は規模5人以上で前年同月比0.4%増(規模30人以上では前年同月比0.1%増)、卸売業、小売業は0.6%増(同0.4%増)、医療、福祉は1.7%増(同1.1%増)となった。

文献紹介

◆「アスベストを疑え! アスベスト健康被害の掘り起こしと救済のために」 2026年4月1日発行

発行: 職業性疾患・疫学リサーチセンター関西支部

▶アスベスト被害とは?

建設業に集中、石綿によるおもな疾病〜長い潜伏期間を経て発症、まずは職歴の確認を、どういう制度が使えるか、救済制度「まずは労災、労災がダメなら救済給付」

▶なぜ掘り起こしが必要か?

医療機関で見逃されるアスベスト疾患

▶労災補償について

認定されるには、職歴・作業記録を残しておこう、労災補償の前提として…、複数事業労働者とは、労災補償内容

▶労災認定基準1「石綿肺」

見逃しが多い石綿肺、石綿肺(じん肺)労災申請の手順、石綿肺の胸部レントゲン像、じん肺管理区分、じん肺健康診断の判定基準等の見直し・健康診断結果等の様式の変更

▶労災認定基準2「肺がん」

認定要件に喫煙の有無は関係ない、建設労働者の肺がん9割にアスベスト所見、石綿肺がん…医師や県ごとに相当のバラつき、CT等で確認できないことも…術中写真が決め手に

▶労災認定基準3「中皮腫」・労災認定基準4

「びまん性胸膜肥厚」「良性石綿胸水」

中脾腫(胸膜・腹膜・心膜・精巣鞘膜)、びまん性胸膜肥厚、良性石綿胸水

▶石綿救済法/救済給付、特別遺族給付金、「すきまにない救済」をいうが数々の問題点(救済給付)、労災補償と石綿救済法の比較

▶建設アスベス給付金制度

給付金がもらえる人は、もらえる給付額は、請求期限、手続きは

▶健康管理手帳

「健康管理手帳」(石綿・じん肺)制度とは…、健康管理手帳の交付要件



問い合わせ先 神戸港湾労働組合協議会

港労研発行 参考文献紹介

◆「横須賀新港ふ頭フェリー就航問題の経過」

2026年9月1日発行

▶横須賀新港ふ頭フェリー就航問題の経過

▶資料集

1. 横須賀新港ふ頭港湾施設使用申請の運用(要望)
2. 横須賀市、裁判視野 朝日/神奈川版記事
3. 港運会社が横須賀市を提訴 朝日デジタル版
4. 「横須賀新港ふ頭に関する問題点」相模運輸倉庫から横須賀港運協会宛
5. 港運協会宛文書「新港ふ頭用途配置図」他
6. 「港運事業の継続」神奈川港運協会から横須賀市長宛
7. 横須賀港利用振興協議会の設置について
8. 横須賀港における諸問題への対応に関する基本合意
9. 横須賀市と港運協会が基本合意
10. 横須賀港、短・中期の具体策に合意、訴訟取り下げへ
11. 横須賀新港ふ頭へのフェリー就航に係る雇用と就労に係る確認書
12. 横須賀新港ふ頭へのフェリー就航に係る雇用と就労確保のための合意書
13. 横須賀港、埠頭再編へ新規岸壁位置づけ
13. 交通政策審議会第93回港湾分科会 横須賀港(改訂)

▶FAX 通信

1. 22FAX 第10号(22年8月9日)
横須賀港運協会との協議経過について
2. 22FAX 第33号(22年11月28日)
22春開第6回中央港湾団交(続々回)の経過について
＜添付＞22春開仮協定書
3. 23FAX 第11号(23年8月21日)
東九フェリー就航に係る四者協議経過について
4. 23FAX 第49号(23年12月12日)
東九フェリー就航に係る四者協議経過について

▶公文

1. 公文第26号(2020年10月28日)日港協宛
2. 公文第91号(2021年05月13日)
3. 公文第93号(2021年05月20日)日港協宛
4. 公文第94号(2021年05月20日)国交省宛
5. 公文第95号(2021年05月20日)港運同盟宛
6. 公文第96号(2021年05月21日)厚労省宛
7. 公文第97号(2021年05月21日)中労委宛
8. 公文第98号(2021年05月25日)横須賀市長宛
9. 公文第100号(2021年05月27日)各単組・地区港湾宛
10. 公文第101号(2021年06月01日)各単組・地区港湾宛
11. 公文第103号(2021年06月17日)日本旅客船協会・日本長距離フェリー協会宛
12. 公文第104号(2021年06月17日)日港協宛
13. 公文第55号(2022年01月06日)日本長距離フェリー協会宛
14. 公文第26号(2026年07月16日)日港協宛

全国港湾関係資料 < 8/1 ~ 8/31 >**新聞図書関係**

- ① 日本経済新聞 (日経)
- ② しんぶん赤旗 (赤旗)
- ③ 物流ニッポン (物流)
- ④ 日本海事新聞 (海事)
- ⑤ マリタイムデーリーニュース (MD)

海運・港運・物流関係(資料1) <8/1~8/31>

- 8/4 西日本鉄道 ICD 利用 運転手不足対応 (海事)
- 8/5 ONE、IQ 決算 税引き後利益 64%減 (MD)
- 8/5 川崎汽船、IQ 決算 経常利益 10.9%増 (MD)
- 8/6 日本郵船、1Q 決算 経常利益 27.3%増 (MD)
- 8/6 港湾カレッジと安定協会が連携 (MD)
- 8/7 運輸労連委員長 政策会議参加に意欲 (物流)
- 8/8 海運3社、株主還元 割れる判断 (日経)
- 8/10 商船三井、IQ 決算 経常減益 (MD)
- 8/11 適正原価、算定式ベースへ国交省
「モデル運賃表」視野 (物流)
- 8/11 環境への適応と限界
神奈川大学名誉教授 齊藤 実氏 (物流)
- 8/14 高麗海運 熊本地震の被災地支援 (海事)
- 8/14 国交省など、特定事業者公表 (物流)
- 8/14 政府、サイバー対策 統一基準 10月施行 (物流)
- 8/14 海運大手3社決算 今期予想を上方修正 (物流)
- 8/18 台湾3船社増益 運賃回復で業績改善 (海事)
- 8/19 全国港湾 秋年末の活動方針案 (海事)
- 8/20 資本コスト経営 山九、MO など評価 (海事)
- 8/20 神戸 KICT 5社で運用開始 国内最大級に (海事)
- 8/20 MO、神戸港「KICT」、阪神国際港湾と契約 (海事)
- 8/21 主張「避難したら戻らな」教訓に！ (物流)
- 8/24 国内港の外貿取扱量 25年は1.8%増 (MD)
- 8/24 黒海穀物輸出ほぼ停止 (海事)
- 8/25 海運大手3社、上場来高値 (海事)
- 8/25 「なぜ賃金は上がらないのか」首藤若菜著 (物流)
- 8/27 東北地方整備局 公共バルクターミナルに
PS カード導入を検討 (MD)
- 8/27 世界30港 上期取扱量 寧波が初の2位 (海事)
- 8/28 国交省港湾局 港湾ロジ強化に 630億円
自動・遠隔荷役機械統合導入を支援 (海事)
- 8/28 港湾労組、国の自動化支援に反対表明 (MD)
- 8/28 年末年始荷役、交渉が本格スタート (MD)
- 8/28 横浜港・本牧 D5 ターミナル
港運労使が OCR ゲート導入を了承 (MD)
- 8/28 神戸港 KICT の遠隔操作 RTG 稼働を了承 (MD)
- 8/28 主張「適正原価設定むけ一枚岩に」 (物流)
- 8/28 つながらない権利
物流業界も対応必要 荷主の理解あってこそ (物流)
- 8/31 国交省の自動化支援事業「断固反対」港湾労組、
港湾局に申し入れ書 (MD)
- 8/31 価格転嫁率 39.9% 運輸・倉庫は 28.4% (MD)

政治・経済・文化等(資料2) <8/1 ~ 8/31>

- 8/1 国家情報局が発足 産業スパイ対策
国が主導 (日経)
- 8/4 全英女子ゴルフ 桑木 メジャー初V (赤旗)
- 8/8 理念を継承 独立性堅持
日本学術会議、総会で憲章案議論 (赤旗)
- 8/8 企業・大学の研究開発費
中国が米国抜き首位 日本は3位 (日経)
- 8/8 人事院勧告、公務員の待遇・働き方
30~40代に照準 (日経)
- 8/8 公務員賃金 3.51%増 極めて不十分な水準 (赤旗)
- 8/13 上場企業 配当総額 23兆円 6年連続最高 (日経)
- 8/13 変わる国防 自衛隊に AI どう活用 (日経)
- 8/14 国旗損壊処罰法施行
処罰対象曖昧・表現の自由委縮懸念 (赤旗)
- 8/15 都市型水害リスク鮮明 千葉豪雨 8人死亡 (日経)
- 8/17 空港職員の待遇改善
入管庁検討 人材流出を防止 (日経)
- 8/18 楽天、日独防衛協力に参画
新興と連携 陸自にドローン (日経)
- 8/18 日経平均、金融 10社に聞く
「年末7万5000円」予想多く (日経)
- 8/19 列島「軍事産業化」狙う 地域未来戦略 (赤旗)
- 8/19 仏・伊・スペイン
生産者連名「歴史的な危機」 (赤旗)
- 8/19 大手海運株が最高値
中東緊迫、運賃上昇の思惑 (日経)
- 8/19 ブルーカラー職 バイト時給上昇
「製造業」は 20.9%高、1432円 (日経)
- 8/20 全業種の8割、最終増益
リーマン以降で最高 (日経)
- 8/21 最低賃金発効、10月に戻る
32都道府県で決定 働く人に恩恵 (日経)
- 8/23 全国高校野球 智弁和歌山V 激闘制す
5年ぶり4度目 (日経)
- 8/28 石川・富山で記録的大雨
一時特別警報 21河川氾濫 (日経)
- 8/28 ゼロから分かる大都市制度
大都市が“独り勝ち”する (赤旗)
- 8/28 特定利用空港港湾に反対
海と空の平和を守れ 新潟の労組など表明 (赤旗)
- 8/30 土石流 不明 2980人 ネパール・中国
死者 633人 (日経)